

● 研修あれこれ 2020.07.03

こんにちは。研修医 2 年目の S.O です。医学生のみなさん、特に 6 年生は研修病院を決めるため、情報収集の真ただ中なのかなと思います。北見日赤も見学生が徐々に増えてきていますが、新型コロナウイルスの影響で十分な見学ができていない人もいるかもしれません。そこで、私が医学生の時に（個人的に）知りたかった、北見日赤の研修制度について少しだけお示し出来たらと思います。

①手技はどれぐらいできるか？

1 年 3 か月で行ったざっくりとした件数ですが

- ・中心静脈カテーテル（準ずるものも含めると）10 件ぐらい
- ・腰椎穿刺（内科や救急研修中に行った）3 回
- ・脊髄クモ膜下麻酔（麻酔科回ると機会があります）10 回ぐらい
- ・気管挿管（麻酔科で行います）30～40 回ぐらい
- ・静脈ルート留置（麻酔科で主に行います）30～40 回ぐらい
- ・動脈ライン留置（麻酔科で行います）5～6 回ぐらい
- ・動脈採血（救急外来や各科の研修中に行います）たくさん
- ・エコー（救急外来で行う機会が多いです）たくさん
- ・虫垂炎の執刀 2 件（外科 2 ヶ月研修をして適切な患者さんがいたので行えました）

そのほか、右心カテーテル（循環器内科研修中）や小児のルート留置など、多岐にわたります。研修医によって多少のばらつきはありますが、自ら希望して準備を怠らなければ手技を学び実践する機会は結構あると思います。病院には、挿管人形や、腹腔鏡のドライボックスなどもあり、練習を行う環境も整っているかなと思います。もちろん、2 年目の研修医や上級医が丁寧に教えてくれますよ。



（昨年、オホーツク管内の空港消火救難総合訓練に
上級医・救護班とともに参加する研修医…左写真左側）



(オホーツク紋別空港での様子…写真右端が研修医)



②救急当直は月何回か？

1年目は、月2回+救急研修1か月（日中の救急対応）になります。主に救急搬送されてくる人の初療を2年目研修医、上級医と行います。2年目になると、プラスして土日祝日のwalk in対応を行います。月2回程度と研修医の募集要項には書いてあるかと思いますが、日中の研修業務に支障をきたさない程度に、増やすことも可能です。北見赤十字病院は3次救急病院ですので、夜間寝られないほど救急車がたくさん来る日は多くはありませんが（平均3~5件/日）、一つ一つの症例をじっくり考えることができ、専門科にコンサルトした後も初療と一緒に学ぶことができます。

③研修は忙しいか？

これは研修科によって変わってきます。土日の回診を隔週行う科もありますし、臨時手術に参加する科もあれば、平日勤務のみの科もあります。お給料をもらっている以上、しっかり働かないといけません。休みが取れなくて大変過ぎることはないと思います。上級医の先生方は教育熱心ですし、忙しい中でも丁寧に教えてくれる先生方が多いです。



(院内災害対応訓練で模擬患者を診察する研修医たち)

④ オフの時間は何をしているか。

北見には、焼肉やお寿司を始め、おいしいものがたくさんあるので、食べ歩きに行く人も多くいます。今はコロナの影響で飲み会も自粛中ですが（せっかく皆さんが見学に来て歓迎会に連れていくことができていません）、研修医同士や上級医の先生方、コメディカルの方と飲み会に行く機会も多くあります。休日は、少し車を走らせれば自然豊かな観光地に行くことができます（そのうち誰かが off の過ごし方を書いてくれると思います）。



（どちらも昨年のオフでの様子）



まだまだ知りたいことはたくさんあるかと思いますが、さらに知りたくなった皆さんはぜひ病院見学や web 説明会に参加してください。メールでの質問も OK なはずです。みなさんが北見日赤で研修医として働くことを楽しみにしています。